

生徒による授業アンケート分析

評価4	そう思う	3	ややそう思う	2	あまり思わない	1	思わない
-----	------	---	--------	---	---------	---	------

I 全体分析

全教科を通じて、「あまり思わない」「思わない」の割合が多く評価が低いのは、

- ③ 目標「授業の目標やねらいを明確にし、授業の終わりにまとめをしている」(30.4%)
- ② 生徒把握「生徒の理解度や学習意欲を把握しようとしている」(24.0%)
- ⑩ 授業改善「授業に対する生徒の意見や要望を取り入れている」(23.1%)

の項目である。

昨年度と比較して、「そう思う」「ややそう思う」の割合が10%以上増えたのは

- ⑧ 対話発表「生徒が話し合いや発表、質問する機会を設けている」(+13.6%)
- ⑤ 教材活用「プリントや補助教材、ICT、実験等を効果的に活用している」(+13.5%)
- ⑦ 説明「大きな声で分かりやすいことばを使って、説明・質問している」(+12.1%)
- ⑨ 分かる授業「生徒によく分かる授業をしようとしている。」(+10.2%)

の項目である。

全体からは、指導目標と評価の明確化の必要性がうかがえるものの、すべての項目で昨年度より評価が上がっており、取り組みの成果が感じられる。今後も更に研究を重ね、よりよい授業になるようにしていきたい。

II 評価観点別分析

- ① **生徒理解 難易度・進度**は、肯定的評価(4・3)の割合が概ね90%であり、生徒の実態に合ったものとなっている。
- ② **生徒理解 生徒把握**は、肯定的評価が2番目に低く、特に理科が68%と低くなっている。
- ③ **授業計画 目標提示とまとめ**は、最も評価が低い。特に文系科目での否定的評価(1・2)が36%ある。単元・授業の学習目標をより明確化して指導する必要がある。
- ④ **授業計画 評価方法の明示と多様な評価**は、全体的な肯定的評価が82%で、昨年度より9%高くなっているが、指導と一体化した評価の明示が更に求められる。
- ⑤ **教材活用**は、全体的な肯定的評価が88%で、昨年度より14%高くなっている。教室にプロジェクターが配備され、活用する担当者も増えており、より有効に活用する方法を模索したい。
- ⑥ **教材活用 教材・課題の理解**は、全体的な肯定的評価が89%と、おおむね良い数値となっている。特に地歴公民科は93%と評価が高い。
- ⑦ **授業展開 説明**は、全体的な肯定的評価が93%と高いが、理系科目の方が分かりにくさを感じる生徒が若干多い。
- ⑧ **授業展開 対話発表**は、全体的な肯定的評価が79%とやや低いが、昨年度と比べて最も改善された項目である。知識の伝達にとどまらない効果的な指導方法を更に研究したい。
- ⑨ **授業分析 わかる授業は**、全体的な肯定的評価が92%と、昨年度と比べて大きく改善された。

更に分かりやすい授業になるよう全職員で取り組んでいきたい。

- ⑩ **授業分析 授業改善**は、肯定的評価が3番目に低いが、昨年度と比べて10%高くなっている。今後も目の前の生徒を視野に入れた授業を心がける必要がある。